

授業科目	色彩学	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	鳥居靖洋	実務経験		漫画家			
授業クラス 学年	クリエイティブ 学科 イラスト・絵本コース 1年 組	担任		赤井泰宏			
授業の概要	<p>表色系、色の三属性・混色・対比など、色彩検定3級程度の知識を習得する。各単元終了時に確認テストを実施。※検定受験者は補習を受講する事。</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 2. 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 3. 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 4. 色のはたらき 5. 光と色を学ぶ 6. 眼のしくみを学ぶ 7. 混色 8. 色の表示を学ぶ 9. PCCS・トーン 10. 色名を学ぶ 11. 色彩心理を学ぶ 12. 色の視覚効果を学ぶ 13. 色の知覚的效果を学ぶ 14. 色彩調和を学ぶ 15. 色彩効果を学ぶ 16. 色彩と生活・ファッション・インテリアを学ぶ 						
使用テキスト 教材等	新配色カード119a 色彩検定公式テキスト3級編 プリント配布						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	メモ帳持参。自分の作品に活かす想定をする事。検定受験者は補習を参加する事。						

授業科目	コンピューター演習 I	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	磯村	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス 学年	クリエイティブ学科学科 イラスト・絵本コース 1年	担任		赤井			
授業の概要	<p>Illustratorの基本的な操作とIllustratorを使った作品制作を行います 図形や文字などの簡単なレイアウトから、画像を使用する紙面レイアウトの作品制作を目指します</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) Illustrator演習：画面の説明やツールの基本操作 Illustrator演習：簡単な図形・整列・線 Illustrator演習：パスを描く(ペンツール操作)・レイヤー説明、パスファインダー Illustrator演習：文字ツール・写真配置・クリッピング 演習課題：名刺作成 課題制作①れんらくぶくろデザイン(コンペ)：ラフスケッチ 課題制作①れんらくぶくろデザイン(コンペ)：スキャニング 課題制作①れんらくぶくろデザイン(コンペ)：Illustratorへ書き起こし 課題制作①れんらくぶくろデザイン(コンペ)：修正・完成 課題制作②ポストカード制作：ラフスケッチ・書き起こし 課題制作②ポストカード制作：書き起こし・修正 課題制作②ポストカード制作：修正・完成 課題制作②応用 年賀状デジタル作品コンペ応募 Illustratorの機能復習・追加演習 						
使用テキスト 教材等	操作手順のプリント配布、授業専用のノートを持参してくる事						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がみられている【80点】 この2占の合計で 作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合に 作品評価占(各100点満点)の総合点を課題数で割った平均レオス</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点							

授業科目	キャリアガイダンス I	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	瀧田龍晃	実務経験		カウンセリング歴22年			
授業クラス 学年	全 学科 1 年	担任		クラス担任			
授業の概要	<p>専門学生として今後のキャリア形成を行なう上で必要なビジネスマナーや社会における一般常識、会社組織のしくみ等 自身の将来に向けた目標設定や就職や進路に有益な知識を学ぶ。キャリアガイダンス I では主にビジネスマナーを中心とし日常的な挨拶から会話、電話応対等の基本マナーを学ぶ。</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてディスカッション力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 2. 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 3. 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 4. キャリアとは何か 未来への目標設定 マズローの欲求5段階 5. 人間関係は「挨拶」から 挨拶の習慣化 校内挨拶の徹底 6. ビジネスマナーの基本① 社会人としての基本マナー 円滑なコミュニケーション 7. ビジネスマナーの基本② 身だしなみ 入退室のマナー 8. 職場のコミュニケーション キャリアと豊かな仕事生活 報連相とは 9. 話し方の基本 敬語の必要性和種類 指示の受け方 傾聴姿勢 10. 各クラスにて所感や小論文作成① 11. 会話のマナー ビジネスフレーズ事例 接遇話 12. 電話の応対 と 来客対応の基本 13. 電話の掛け方のマナー ビジネスルールと応対例 14. 電話の受け方のマナー 社内取次メモの書き方 15. 各クラスにて所感や小論文作成② 16. 来客の応対 と面談の基本 訪問のマナー 						
使用テキスト 教材等	マイロード2 1 関連資料(授業用レジメ) 毎時配布 A4クリアファイル						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていない【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに平常点【20点】を加算して算出する。平常点は、授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	キャリアガイダンスの授業は卒業までⅠ～Ⅲの3部構成で行う。段階を追ってキャリア形成に必要な知識やマナー、応対例を学ぶ。この授業で学び日常でそれを実践してこそ、学習の成果となる。努力をしてキャリアアップして欲しい。						

授業科目	イラストレーション基礎Ⅱ	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	岡直	実務経験		イラストレーター			
授業クラス 学年	クリエイティブ学科 (イラスト・絵本コース) 1年	担任		赤井			
授業の概要	<p>絵本制作の実践的内容を体得する為に、画材を用いての基礎的表現から、独自性を発見し鍛錬する。</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 2. 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 3. 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 4. パステル表現：絵本表紙の制作。講師の刊行物より「ゆめピアノ」をキーワードに創作する。B4ケント紙中央に21cm×21cmの枠を取り制作 5. パステル表現：絵本表紙の制作。講師の刊行物より「ゆめピアノ」をキーワードに創作する。B4ケント紙中央に21cm×21cmの枠を取り制作 6. パステル表現：絵本表紙の制作。講師の刊行物より「ゆめピアノ」をキーワードに創作する。B4ケント紙中央に21cm×21cmの枠を取り制作 7. 開く絵本頁の制作：用紙を指定サイズに折り、開く前後の変化を工夫し制作する。B3ケント紙使用 画材自由 8. 開く絵本頁の制作：用紙を指定サイズに折り、開く前後の変化を工夫し制作する。B3ケント紙使用 画材自由 9. 開く絵本頁の制作：用紙を指定サイズに折り、開く前後の変化を工夫し制作する。B3ケント紙使用 画材自由 10. パースダイカートの制作：夢のあるビジュアルを創意工夫し、表紙から開く事での見開き中ページの展開を考え制作する。B3ケント紙 画材自由 11. パースダイカートの制作：夢のあるビジュアルを創意工夫し、表紙から開く事での見開き中ページの展開を考え制作する。B3ケント紙 画材自由 12. パースダイカートの制作：夢のあるビジュアルを創意工夫し、表紙から開く事での見開き中ページの展開を考え制作する。B3ケント紙 画材自由 13. 絵本登場キャラクターの制作；仮定の絵本登場人物として男の子、女の子を主に18cm角で、またその脇役として動物4点を10cm角で制作する。B3ケント紙使用 画材自由 14. 絵本登場キャラクターの制作；仮定の絵本登場人物として男の子、女の子を主に18cm角で、またその脇役として動物4点を10cm角で制作する。B3ケント紙使用 画材自由 15. 絵本登場キャラクターの制作；仮定の絵本登場人物として男の子、女の子を主に18cm角で、またその脇役として動物4点を10cm角で制作する。B3ケント紙使用 画材自由 16. 絵本登場キャラクターの制作；仮定の絵本登場人物として男の子、女の子を主に18cm角で、またその脇役として動物4点を10cm角で制作する。B3ケント紙使用 画材自由 						
使用テキスト 教材等	参考資料として講師刊行物を主に随時提示。						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	使用する用紙中央に指定枠を描き、余白部分は汚さないよう配慮しきれいな仕上がりを心掛ける。						

授業科目	メディア概論	講義	実技	演習	単位時間32→単位2 単位時間64→単位4 単位時間96→単位6	前期	後期
教科担当	加藤成樹	実務経験					
授業クラス 学年	クリエイティブ学科 イラスト・絵本コース1年	担任		赤井泰宏			
授業の概要	CG・漫画・コミックイラストに関する文化的位置、メディアとしての機能と、アートとしての現状と未来について 解説。						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	1. 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 2. 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 3. 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 4. オリエンテーション～メディアとアートの関係 5. 西洋社会における芸術への関心度について 6. 東洋（日本）の芸術への関心度について 7. 近現代美術史の概要（ルネサンス、ジャポニズム） 8. 近現代美術史の概要（印象派、抽象絵画） 9. 近現代美術史の概要（ポップアート、インスタレーション） 10. 近現代美術史の概要（インスタレーション、現代美術） 11. 日本の漫画・アニメの歴史とその特徴、独自性について 12. 商業イラストのデザイン性について 13. 印刷の知識、レイアウト、画面構成の基本について 14. マーチャンダイジング、メディアミックスについて 15. コンテンツビジネスとメディアの関係性、現状と未来について 16. 学期末試験						
使用テキスト 教材等	適宜資料配布						
成績評価方法 及び基準	各単元終了時に確認テストを実施し、学期末のテスト【100点満点】を行う。 採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D（不合格）とする。						
履修にあたっての 留意点	各自でわかりやすく見直しができるノートを用意。						

授業科目	デッサンⅠ	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	日笠 保	実務経験		美術家			
授業クラス 学年	クリエイティブ学科 イラスト・絵本コース 1年	担任		赤井 泰宏			
授業の概要	<p>基礎的なデッサン技術や構成力、遠近法・質感・量感などの表現力をしっかりと習得する。</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 「本」(辞書や週刊漫画雑誌など、厚みのあるもの) 「瓶」(ワイン、ウイスキー、ビールなど) 「瓶」(ワイン、ウイスキー、ビールなど) 「人物クロッキー」(立ちポーズ、座りポーズなど) 「スプーンの自画像」(スプーンに映った自分の姿を描く) 「スプーンの自画像」(スプーンに映った自分の姿を描く) 「軍手」(一双を自由に組み合わせて構成) 「人物クロッキー」(立ちポーズ、座りポーズなど) 「構成デッサン」(「顔」の文字がプリントされた紙と、5～6個の実習用具を机上で組み合わせて、顔をイメージした構成をつくる) 「構成デッサン」(「顔」の文字がプリントされた紙と、5～6個の実習用具を机上で組み合わせて、顔をイメージした構成をつくる) 「瓶のフタ」(拡大して描き、らせん状の部分の形態や質感を表現) 「瓶のフタ」(拡大して描き、らせん状の部分の形態や質感を表現) 「人物クロッキー」(立ちポーズ、座りポーズなど) 						
使用テキスト 教材等	適宜、参考作品等を提示。						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	デッサンでは、集中力・観察力も求められます。地道に根気よく制作に取り組むように。						

授業科目	デザイン基礎	講義	実技	演習	単位時間32-単位2 単位時間64-単位4 単位時間96-単位6	前期	後期
教科担当	木村咲慧	実務経験		イラストレーター			
授業クラス 学年	クリエイティブ学科 イラスト・絵本コース 1年	担任		赤井泰広			
授業の概要	<p>紙のサイズについて。B3水張りの習得。平面構成中心にデザイナーに必要な構成力強化。</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 2. 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 3. 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 4. ペン画連想デザイン ラフ 5. ペン画連想デザイン ペン入れ 6. ペン画連想デザイン ペン入れ→提出 7. 植物の葉を利用した色面構成 (B3水張りとはラフスケッチ) 8. 植物の葉を利用した色面構成 (ラフ仕上げ・着色) 9. 植物の葉を利用した色面構成 (着色) 10. 植物の葉を利用した色面構成 (着色仕上げ・提出) 11. カレンダーデザイン、自分の誕生日(季節感)のイメージ表現 (B3水張りとはラフスケッチ) 12. カレンダーデザイン、自分の誕生日(季節感)のイメージ表現 (ラフ仕上げ・着色) 13. カレンダーデザイン、自分の誕生日(季節感)のイメージ表現 (着色) 14. カレンダーデザイン、自分の誕生日(季節感)のイメージ表現 (着色仕上げ・提出) 15. コンペ課題作品(瑞浪、多治見美術展など) 16. コンペ課題作品(瑞浪、多治見美術展など) 						
使用テキスト 教材等	B3パネル、紙、水張り用の刷毛、筆洗、絵の具など。						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	作業手順など、必要な事は必ずメモを取ること。 制作作品はオリジナルのものである事。						

授業科目	図学・パース	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	榊原 緑	実務経験					
授業クラス 学年	クリエイティブ学科 イラスト・絵本コース 1年	担任		赤井泰宏			
授業の概要	<p>基本図形および透視図法を用いた基本の背景画等の描き方の基礎を習得する。</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 円と線、直線と角：直定規、三角定規の基本的な使い方、均一な線の引き方を習得。 多角形：5角形、6角形、円に内接する多角形の描き方を習得。 一点透視図法：一点透視図法の基礎の描き方を習得する。(セクションクロッキー帳に基本図形を描く) 一点透視図法：一点透視図法の基礎の描き方を習得する。(掲示板上に貼りつけられたポスターを一点透視図法で描く下書き) 一点透視図法：一点透視図法の基礎の描き方を習得する。(掲示板上に貼りつけられたポスターを一点透視図法で着色、コピックなどを用い描き完成提出) 二点透視図法：二点透視図法の基礎の描き方を習得する。(セクションクロッキー帳に基本図形を描く) 二点透視図法：二点透視図法の基礎の描き方を習得する。(配布資料の写真の消失点を見つけ漫画原稿用紙に作画する) 二点透視図法：二点透視図法の基礎の描き方を習得する。(配布資料の写真の消失点を見つけ漫画原稿用紙に作画する) 二点透視図法：二点透視図法の基礎の描き方を習得する。(配布資料の写真の消失点を見つけ漫画原稿用紙に作画する。ペン入れ完成提出) 三点透視図法：三点透視図法の基礎の描き方を習得する。(セクションクロッキー帳に基本図形を描く) 分割：2分割、3分割、線の等分を用いた分割の描き方を習得。 応用：一点透視図法をと分割技法を用いた階段を描き人物も配置する。下書き 応用：一点透視図法をと分割技法を用いた階段を描き人物も配置する。ペン入れ完成提出。 						
使用テキスト 教材等	適宜プリント配布、直定規、三角定規、コンパス、セクションクロッキー帳、漫画原稿用紙、コピックなど						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	授業の最後に習得した技法を用いた実技課題プリントを出題します。作業手順、技法など、板書したものは必ずノートに記入する事。						

授業科目	イラストレーション基礎Ⅰ	講義	実技	演習	単位時間32-単位2 単位時間64-単位4 単位時間96-単位6	前期	後期
教科担当	間瀬友恵	実務経験		造形作家			
授業クラス 学年	クリエイティブ 学科 イラスト・絵本コース 1年 組	担任		赤井泰宏			
授業の概要	<p>アクリル絵具、水彩絵具の基礎技法の修得(B3水張りの修得)</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 2. 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 3. 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 4. メディウム研究：アクリル絵具と各種メディウムの特性を学び、オーガニック形態による表現を追求する。(B3パネル水張り) 5. メディウム研究：アクリル絵具と各種メディウムの特性を学び、オーガニック形態による表現を追求する。 6. メディウム研究：アクリル絵具と各種メディウムの特性を学び、オーガニック形態による表現を追求する。 7. 絵文字：植物の漢字を、レタリングの一部分にその植物のリアルイラストを構成する。(B4ケント) 8. 絵文字：植物の漢字を、レタリングの一部分にその植物のリアルイラストを構成する。 9. 絵文字：植物の漢字を、レタリングの一部分にその植物のリアルイラストを構成する。 10. 抽象表現研究：「音」や「リズム」をイメージした抽象的な世界観を表現する。(B2パネル水張り) 11. 抽象表現研究：「音」や「リズム」をイメージした抽象的な世界観を表現する。 12. 抽象表現研究：「音」や「リズム」をイメージした抽象的な世界観を表現する。 13. 抽象表現研究：「音」や「リズム」をイメージした抽象的な世界観を表現する。 14. 素材の研究：アクリル絵具で紙以外(木材・布・石など)にペイントする。 15. 素材の研究：アクリル絵具で紙以外(木材・布・石など)にペイントする。 16. 素材の研究：アクリル絵具で紙以外(木材・布・石など)にペイントする。 						
使用テキスト 教材等	適宜、参考作品や資料などを提示する。						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	固定概念にとらわれず、自由な発想や柔軟な表現技法研究によって、個性的な作品制作を目指してほしい。						

授業科目	グラフィックデザイン	講義	実技	演習	単位時間32-単位2 単位時間64-単位4 単位時間96-単位6	前期	後期
教科担当	Michiyo	実務経験		イラストレーター			
授業クラス 学年	クリエイティブ学科 イラスト・絵本コース1年	担任		赤井			
授業の概要	<p>形や色や文字、レイアウトを作品制作を通して探っていき、自分の中の感性を高め想像力と発想力、そして画面構成のデザイン力など総合的に身につける。</p> <p>☆1年生は入学後すべての科目で「1か月間集中トレーニング」としてデッサン力・色彩力を身につける期間がある。(BASIC STUDY)</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 透視図法の基礎を理解し「レンガのデッサン」、「スプレー缶」のデッサンを制作する。(BASIC STUDY) 2. 自然の温かみを表現するため「ビー玉を持った手のデッサン」を制作する。(BASIC STUDY) 3. 直線・曲線・任意の図形を使い「平面構成」を制作し、鉛筆・野菜・植物を使い「美しい平面構成」を制作する。(BASIC STUDY) 4. 文字とコラージュ構成(自分の好きな文字とイメージに合うコラージュでデザインする) 5. 文字とコラージュ構成(自分の好きな文字とイメージに合うコラージュでデザインする) 6. 文字とコラージュ構成(自分の好きな文字とイメージに合うコラージュでデザインする) 7. 文字とコラージュ構成(自分の好きな文字とイメージに合うコラージュでデザインする)提出 8. 自然の形で色面構成(テーマにした文字と自然の形をミックスさせデザインする) 9. 自然の形で色面構成(テーマにした文字と自然の形をミックスさせデザインする) 10. 自然の形で色面構成(テーマにした文字と自然の形をミックスさせデザインする) 11. 自然の形で色面構成(テーマにした文字と自然の形をミックスさせデザインする) 12. 自然の形で色面構成(テーマにした文字と自然の形をミックスさせデザインする)提出 13. 絵文字をデザイン(文字にイラストをプラスして構成する) 14. 絵文字をデザイン(文字にイラストをプラスして構成する) 15. 絵文字をデザイン(文字にイラストをプラスして構成する) 16. 絵文字をデザイン(文字にイラストをプラスして構成する)提出 						
使用テキスト 教材等	書体サンプル集。必要に応じてプリントを配布。参考作品掲示。						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	画面構成を通してデザイン力を高める。丁寧な仕上げをすること。						